

競技注意事項

1. 競技規則について

本大会は、2025年度日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会規定で行う。

2. 競技者の招集について

- 競技者招集場所は雨天練習場に設置する。
- 招集時刻は、その競技開始時刻を基準とし、下記のように定める。

種 目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	競技開始 30 分前	競技開始 20 分前
フィールド競技（円盤投を除く）	競技開始 40 分前	競技開始 30 分前
円盤投	競技開始 50 分前	競技開始 40 分前
【走幅跳決勝・砲丸投決勝】	競技開始 30 分前	競技開始 20 分前
【棒高跳】	競技開始 90 分前	競技開始 80 分前

(3) 招集の手順

- 競技者は招集開始時刻までに招集所に集合し点呼を受ける。その際アスリートビブス・スパイク・スパイクピン
の長さ（走高跳は12mm以下、その他は9mm以下とする）・規定外シューズ・衣類および競技場内への持ち
込み物品等の点検を受けた後、係員の誘導に従って入場する。
- 招集完了時刻に遅れた者は、当該種目を棄権したものとして処理する。
- ③跳躍競技(混成競技を含む)の招集時には、使用シューズ申請書を持参し、競技者係に提示すること。**
使用シューズ申請書は兵庫県中学校体育連盟陸上競技部ホームページからプリントアウトできる。
- ④多種目同時出場届は兵庫県中学校体育連盟陸上競技部ホームページからプリントアウトした用紙を使用し、競
技者係に提出すること。（競技者係は、その旨を流しプロに記載し連携を図る）
- ⑤四種競技出場者の招集については以下の要領で行う。
＊トラック種目：(3)の①に従って、競技者係による通常の点呼を受ける。
＊フィールド種目：招集開始時刻に招集所に集合し、混成競技係による点呼を受ける。
- ⑥リレーの招集は、予選・決勝ともに4人そろって点呼を受けること。ただし、他種目と重なるなどのため、点
呼が受けられない場合は、(3)④に従いその旨を事前に申し出て許可を得ておくこと。
- ⑦競技への出場をやむを得ず棄権する時は、招集開始時刻までに当該選手の監督がその旨を競技者係に申し出る
こと。四種競技出場者が途中で棄権する場合は、混成競技審判長に申し出ること。 [TR39.10]

3. TR 5 競技用靴の対応について

本大会はTR5.2（TR 5：競技用靴）を適応する。

4. 競技運営について

- トラック競技の走路順、フィールド競技の試技順は、プログラム記載の番号で示す。
- 時間による最後の1枠に同成績がいる場合、写真判定主任は0.001秒の実時間を考慮しなければならない。それ
でも同じであれば同成績とする。空きレーンがあるか、走る場所がある（800m競走でレーンに複数割り当てる
場合を含む）のであれば、同成績者は次のラウンドに進めるようにしなければならない。不可能なら、次ラウン
ドへの進出者は抽選により決める。 [TR21.5]
- 「On your marks（位置について）」または「Set（用意）」の合図の後、音声や動作、その他の方法で他の競技者
を妨害したときは不適切行為とみなす。 [TR16.5.3]
- スタートにおける不適切行為は、TR16.5を適用せず注意にとどめる。
- 混成競技を除いて、一度の不正スタートでも責任を有する競技者はスターターにより失格させられる。
混成競技においては、各レースでの不正スタートは1回のみとし、その後に不正スタートした競技者は、すべて
失格とする。 [TR16.8]
- リレー競技を行う場合、競技者は大きさが最大50mm×400mmで他の恒久的なマーキングと混同しないよう
はっきりとした色の粘着テープをマーカーとして1カ所、自らのレーン内に貼ることが許される。 [TR24.4]

- (7) リレーチームの編成メンバーは、どのラウンドにおいてもその競技会のリレーまたは他の種目に申し込んでいる競技者であれば出場できる。ただし、少なくとも2人はリレーに申し込んだ競技者でなければならない。
〔TR24.10.2〕
- (8) リレー競技のチームの編成は、各ラウンドの第1組目の招集完了時刻の1時間前（その時間までに競技者が招集所にいなければならない時刻）までに正式に申告しなければならない。
〔TR24.12〕
- なお、**リレーオーダー用紙はチーム受付で配付し、正面玄関で受け付ける。共通リレーの受付は26日(土)13:00以降とする。** ※ユニフォームに関しては同系色を着用すること。
- (9) 短距離走では、競技者安全のため、フィニッシュライン到着後も自分に割り当てられた走路を走ること。
- (10) 競技者に対する助力については、TR6.2を適用するので十分に気をつけること。
- (11) 競技場での競技前の跳躍・投てき練習は、競技役員の指示によって行うこと。
- (12) 競技者は助走や踏切をしやすくするためにマーカー（主催者が準備したもの、または承認したもの）を、2個まで使うことができる。マーカーが準備されない場合、粘着テープを使用してもよい。
〔TR25.3.1〕
- (13) サークルから行う投てき競技では、マーカーを1つだけ使用することができる。
〔TR25.3.2〕
- (14) 審判長がやむを得ないと判断した場合に限りフィールド競技について競技順を変更して出場することができる。
〔TR4.3〕
- (15) 選手の変更については申し込み以降、大会当日までに不測の事情により出場が不可能になった選手がでた場合、その旨を各地区委員長に申し出て承認を得た後、競技前の常任委員会です承を得ることを原則とする。それ以降の選手変更は認めない。
- (16) 男子 3000mはグループスタートで行う。

5. アスリートビブスについて

- (1) 競技者は競技中、胸と背にはっきり見えるように2枚のアスリートビブス（ビブス）をつけなければならない。跳躍競技の競技者は、背または胸につけるだけでもよい。アスリートビブス（ビブス）は通常はアスリートランキングに記載のものと同じナンバーでなければならない。
〔TR5.7〕
- (2) **アスリートビブス(腰)はトラック競技の400mまでは選手が用意する。800m以上は主催者が用意する。**
アスリートビブス(腰)は招集時に受け取り、ランニングパンツ右側上部やや後方に貼り付けること。

6. フィールドの予選について

予 選 通 過 記 録

- (1) 男女の走幅跳と砲丸投については予選を行い、上位12名を決勝進出者とする。

※予選通過標準記録を超えた者が12名に満たなかった場合は、予選成績により追加補充する。同記録の競技者はTR25.22 および TR26.8 を適用する。

	男子	女子
走幅跳	なし	なし
砲丸投	13m30	12m50

- (2) 以下の種目においては計測基準記録を設けるが、天候・その他の都合で変更することもある。

	走 幅 跳	三 段 跳	砲 丸 投	円 盤 投
男子	5 m 7 0	1 1 m 5 0	1 0 m 0 0	3 0 m 0 0
女子	4 m 6 0		1 0 m 0 0	2 5 m 0 0

※上記の記録を計測基準記録とし、記録に達しない場合は計測しないことがある。

7. 用器具について

競技に使用する用器具は、棒高跳用のポール以外はすべて主催者が用意したものを使用しなければならない。
また、練習用としても個人の用器具を競技場内に持ち込んではいならない。

8. ウォーミングアップについて

- (1) 補助競技場で行い、駐車場・芝生広場での練習は一切禁止する。 ※下記の3種目に関しては別とする。

※男子 3000mと男女リレー予選のウォーミングアップについて

- ・ 男子 3000m メイン1～3レーン 7:00～8:20
- ・ 女子リレー予選 メイン5～9レーン 7:00～8:45
- ・ 男子リレー予選 サブトラック 7:00～9:10

- (2) 選手以外の補助競技場の利用はできない。

- (3) メイン競技場でのハードル練習については、1日目は設置完了 ～ 8：30までとする。
2日目は補助競技場に設置する。
※個人のハードルの持ち込みは禁止する。また、競技場周辺でのハードル練習は一切禁止する。
- (4) 投てき練習は、補助競技場内の投てき練習場で行い、メディシンボールの使用のみ認める。
- (5) メイン競技場での棒高跳練習については、設置完了 ～ 9：00までとする。

9. 走高跳・棒高跳におけるバーの上げ方について

以下のように設定するが、天候・その他の都合で変更することもある。

種 目	性 別	練習	競 技			
走 高 跳	男 子	1m55	1m60 ～ 1m85	5 cm ずつ	1m88 以上	3 cm ずつ
	女 子	1m35	1m40 ～ 1m45	5 cm ずつ	1m48 以上	3 cm ずつ
棒 高 跳	男 子	2m40	2m60 ～ 3m60	20 cm ずつ	3m70 以上	10 cm ずつ
四 種 競 技 (走 高 跳)	男 子	1m55 1m40	1m45 ～ 1m65	5 cm ずつ	1m68 以上	3 cm ずつ
	女 子	1m35 1m15	1m20 ～ 1m40	5 cm ずつ	1m43 以上	3 cm ずつ

- ①走高跳・棒高跳の決勝で、最後の一人になり優勝が決まるまで、上記のバーの上げ方をする。
②ジャンプオフ（第1位決定戦）については、TR26.9を適用する。

10. 表彰について

- (1) 表彰式は行う。各種目3位までの入賞した選手・チームは、競技終了後中央ロビーに集合すること。
(2) 入賞者の得点は、1位8点、2位7点 ～ 7位2点、8位1点とする。
(3) 男子・女子総合優勝チームに、それぞれ賞状・優勝杯・優勝楯を、2位・3位チームには賞状を授与する。

11. 競技場使用について

- (1) 本競技場での練習は、許可された時間帯以外は認めない。
(2) 本部前の通行は一切禁止する。また、更衣室の利用は可とするが、「少人数・短時間」を心がけること。
女子はメインスタンド下ゴール付近、男子は雨天練習場付近に更衣室を設ける。
(3) **待機場所はメインスタンド・メインスタンド裏(2F)・競技場外周・芝生スタンドおよび、競技場周辺の芝生を使用すること。ただし、地区割している場所に関しては、各校・各チームの場所取りは可とするが、最小限に努め、他チームと譲り合って待機すること。**
(4) 貴重品の管理は各自で責任を持って行い、ゴミは各チームで持ち帰ること（競技場内にゴミ箱は設置していない）
(5) 不審者や不審な行為をみつけた場合は、すみやかに近くの競技役員に連絡すること。

前日の競技場開放について

開放時間 10：00 ～ 15：00（メイン競技場・補助競技場ともに全面開放する）
ただし、棒高跳・砲丸投・円盤投については次の時間内に限りメイン競技場を開放するので、
それ以外の場所（補助競技場、駐車場など）での練習は一切禁止する。
【 棒高跳・投てき開放時間 10：00 ～ 12：00 ・ 13：00 ～ 15：00 】

12. 競技による入退場について

競技役員の指示に従い、入退場すること。

13. 近畿大会出場について

- (1) 近畿大会出場者は各種目3位までに入賞した者とする。ただし、1人1種目の制限がある。
(2) 近畿大会出場の権利を得た者は、8月6日（水）・7日（木）に開催される第74回近畿中学校総合体育大会陸上競技大会（於 平和堂 HATO スタジアム）の兵庫県代表として推薦するので手続きを行い、指導者は大会終了後の打ち合わせに出席すること。なお、4位以下から繰り上がる場合もある。
また、打ち合わせに出席しない団体や参加手続きのない選手は、近畿大会出場の意志がないものとするので、注意すること。
(3) 近畿大会代表選手決定において同順位が出た場合、下記の内容で決定戦を行う。
（トラック種目）選手が決定できない時は、対象選手の1つ前のラウンドでの最高記録上位者に決定する。
その際、風速などの条件は考慮しない。

(走高跳・棒高跳) 代表選手決定戦を行う。その際、バーの上げ下げは走高跳 2 cm、棒高跳 5 cm ずつとする。

(走幅跳・三段跳・円盤投・砲丸投) 代表選手が決定するまで 1 回ずつ試技を行う。

(4) 四種競技において同得点が出た場合、以下の通りとする。

①四種目のうち、三種目得点が多い競技者を上位とする。

②①でも勝敗がつかない場合、各種目のどれか 1 種目で最高得点を取った競技者を上位とする。

14. 全国大会（リレー種目）出場について

決勝において同順位が出た場合、対象チームで決定戦を行う。

15. その他

(1) 競技注意事項を熟読の上、円滑な競技運営ができるように協力すること。

(2) **各自の出場種目の時間に合わせて来場し、競技を終えた者は速やかに帰路につくこと。**

ただし、各校・各チームの引率状況において、待機も可とする。

(3) 競技場内・周辺ではルールやマナーを守ること。

(4) 主催者側でも消毒液等は準備するが、各自除菌グッズを持参し、適宜感染防止に努めること。

(5) マスクの着用は個人の判断とする。

(6) **選手は競技場内にて、携帯電話・スマートフォン等の電子通信機器の使用・撮影を行わないこと。**

(7) 選手は競技場内でのハンディファン等の電子機器を使用しないこと。

(8) 本大会は、第 52 回全日本中学校陸上競技選手権大会（8 月 17 日～20 日：沖縄）の予選会でもあり、資格を得た選手の指導者は、競技会終了後の全国大会出場者打ち合わせに出席し手続きすること。

(9) 競技会当日、午前 6：00 に加古川市に気象警報（波浪以外）が発表された場合、その日の競技は中止とする。
なお、今後の予定については県中体連陸上競技部HPに掲載する。ただし、混成競技に関しては気象状況に鑑み、競技日程を変更する場合がある。

(10) 競技中に発生した傷害・疾病については、応急処置は主催者で行う。それ以降の処置については、各チームの責任者で対応すること。

(11) **送迎に関して、駐車許可証を提示すること。許可証は指導者から配付してもらうこと。**

駐車許可証は1日毎に1枚必要となる。

写真（動画）撮影について

悪質な写真（動画）の盗撮を未然に防ぎ、子どもや選手をこれらの被害から守るために、大会中の撮影許可を下記の場合に限らせてもらいます。

①大会運営本部より許可した報道関係者

②大会出場校の顧問、代表者

③大会出場選手の保護者

※撮影されている方に、上記に該当するか確認させていただく場合があります。